

日本食道学会より

## 『胸部食道癌手術症例を対象とした胸管合併切除の 必要性に関する後ろ向き観察研究』について

### ➤ 研究(調査)の目的と概略

食道癌の治癒を目指す治療のひとつとして食道切除術がありますが、患者さんにとってとても負担の大きい手術であり、切除する必要のない臓器はなるべく温存することが重要です。いっぽう食道の近くには胸管という体中のリンパ液が流れる管があり、栄養や免疫機能の面からとても重要な役割をはたしています。胸管のそばのリンパ節に癌が転移することがあるため、これまでは胸管と一緒に切除することが多かったのですが、胸管をとることで本当に癌が治りやすくなるかは明らかになっていません。この研究では食道癌手術に関する全国調査をもとに、本当に胸管と一緒に切除することが望ましいかあきらかにすることを目的とします。

### ➤ 研究(調査)の方法

2007年から2012年までに日本食道学会の食道癌全国登録に登録されたデータをもとに、食道切除を受けた食道癌患者さんにおいて胸管も同時に切除した方と温存した方の生存率、手術成績などについて比較・解析して、食道切除を受けるすべての食道癌患者さんに胸管を同時にとる必要があるかを検討します。

### ➤ 研究(調査)の参加施設

食道癌全国登録にデータ登録している全ての施設

### ➤ 調査期間

調査対象期間(2007年1月1日～2012年12月31日) 研究期間(2019年6月1日～2021年3月31日)

### ➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、2007年1月1日から2012年12月31日までに食道癌で食道切除を受けられた患者さんを対象に、食道癌全国登録に登録された所見や診療経過のデータを解析するものです。登録されているデータは個人が特定できないよう匿名化して管理され、個人情報を保護します。

### ➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力で同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

### ➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者: 押切太郎(神戸大学食道胃腸外科)

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局

〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階

TEL:03-6456-1339 FAX:03-6658-4233 E-mail: [office@esophagus.jp](mailto:office@esophagus.jp)